

科 目	単 位（時間）	担当者	授業時期
形態機能学 I	1 単位 (30 時間)	三浦 大志（大学講師） 上條 明生（大学講師）	1 年前期
【学習目標】 人体の正常な構造と機能を理解し、全体の構成および各部分の構造を正しい用語を用いて記述でき、機能を説明することができるようにする。学習内容は人体の基本構成、消化器系、循環器系、ホメオスタシス、皮膚。 【授業の進め方】 教科書を基本に、パワーポイントを用いて講義を行う。補足資料を配付し、講義に活用する場合がある。 【授業スケジュール】 1 形態機能学を学ぶための基礎知識（人体の階層性、細胞の構造と機能、細胞の構造と機能） 2 形態機能学を学ぶための基礎知識（組織の分類と機能、構造と機能から見た人体） 3 呼吸器と血液の働き（呼吸器の構造） 4 呼吸器と血液の働き（呼吸器の構造 呼吸） 5 呼吸器と血液の働き（呼吸 血液） 6 呼吸器と血液の働き（血液） 7 呼吸器と血液の働き（血液） 8 血液の循環とその調節（心臓の構造、心臓の拍出機能） 9 血液の循環とその調節（心臓の拍出機能 末梢循環系の構造） 10 血液の循環とその調節（末梢循環系の構造） 11 血液の循環とその調節（血液の循環の調節） 12 血液の循環とその調節（リンパとリンパ管） 13 身体機能の防御と適応（皮膚の構造と機能） 14 身体機能の防御と適応（生体の防御機構、体温調節） 15 試験 【教科書】 系看 専門基礎 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 医学書院 【参考書】 丸善株式会社 トートラ 人体の構造と機能 第5版 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単 位（時間）	担当者	授業時期
形態機能学Ⅱ	1 単位 (30 時間)	三浦 大志（大学講師） 上條 明生（大学講師）	1 年全期
【学習目標】 人体の構造と機能を理解し、全体の構成および各部分の構造を正しい用語を用いて記述でき、機能を説明することができるようになる。学習内容は生殖・発生・老化、骨格・筋系、神経系。 【授業の進め方】 教科書を基本に、パワーポイントを用いて講義を行う。補足資料を配付し、講義に活用する場合がある。 【授業スケジュール】 1 生殖・発生と老化のしくみ（男性生殖器、女性生殖器） 2 生殖・発生と老化のしくみ（受精と対峙の発生、成長と老化） 3 からだの支持と運動（骨格とはどのようなものか、骨の連結、骨格筋） 4 からだの支持と運動（体幹の骨格と筋） 5 からだの支持と運動（上肢の骨格と筋） 6 からだの支持と運動（下肢の骨格と筋） 7 からだの支持と運動（頭頸部の骨格と筋） 8 からだの支持と運動（筋の収縮） 9 情報の受容と処理（神経系の構造と機能） 10 情報の受容と処理（脊髄と脳、脊髄神経と脳神経） 11 情報の受容と処理（脳の高次機能、運動機能と下行伝達路、感覚機能と上行伝達路） 12 情報の受容と処理（眼の構造と視覚） 13 情報の受容と処理（耳の構造と聴覚・平衡覚） 14 情報の受容と処理（味覚と臭覚、疼痛） 15 試験 【教科書】 系看 専門基礎 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 医学書院 【参考書】 丸善株式会社 トートラ 人体の構造と機能 第5版 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単位（時間）	担当者	授業時期
形態機能学Ⅲ	1 単位 (30 時間)	三浦 大志（大学講師） 上條 明生（大学講師）	1 年後期
【学習目標】 人体の正常な構造と機能を理解し、全体の構成および各部分の構造を正しい用語を用いて記述でき、機能を説明することができるようになる。学習内容は泌尿器系、血液・造血器系、内分泌系、呼吸器系。 【授業の進め方】 教科書を基本に、人体の構造と機能に関してパワーポイントを用いて講義を行う。補足資料を配付し、講義に活用する場合がある。 【授業スケジュール】 1 内臓機能の調節（自律神経系による調節、内分泌系による調節） 2 内臓機能の調節（全身の内分泌と内分泌細胞） 3 内臓機能の調節（ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節の実際） 4 体液の調節と尿の生成（腎臓） 5 体液の調節と尿の生成（排尿路） 6 体液の調節と尿の生成（体液の調節） 7 血液・造血器系（血液の成分、性状と組成、血液成分の産生） 8 血液・造血器系（血球、酸素飽和度、血球破壊、） 9 血液・造血器系（生体防御に関わる細胞 免疫、血液型） 10 栄養の消化と吸収（口、咽頭、食道の構造と機能） 11 栄養の消化と吸収（腹部消化管の構造と機能） 12 栄養の消化と吸収（膵臓の構造と機能） 13 栄養の消化と吸収（胆のうの構造と機能） 14 栄養の消化と吸収（肝臓の構造と機能） 15 試験 【教科書】 系看 専門基礎 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 医学書院 【参考書】 丸善株式会社 トートラ 人体の構造と機能 第5版 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
生化学	1 単位 (15 時間)	三井 由香 (大学准教授)	1 年後期
【学習目標】 体の成分の成り立ちと健康を維持するための働きを学ぶ 【授業の進め方】 講義 【授業スケジュール】 1 細胞 2 遺伝子、タンパク質合成 3 タンパク質 4 糖質 5 脂質 6 酵素、糖代謝 7 タンパク質代謝、脂質代謝 8 試験 【教科書】 系看 専門基礎 人体の構造と機能 [2] 生化学 医学書院 【参考書】 なし 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単 位（時間）	担 当 者	授業時期
病理学	1 単位 (15 時間)	市川 徹郎 (病院病理学医師)	1 年前期
【学習目標】 病気の原因となる身体的な異常や障害を理解する 【授業の進め方】 講義 【授業スケジュール】 1 病理学とは 病理医は何をしているの？ 病気の原因と分類、病理学の学び方、貴方の人生 2 細胞・組織の障害と修復、炎症 3 免疫、感染症 4 循環障害、代謝障害 5 老化と死、先天異常 6 腫瘍、生活環境と環境因子による障害 7 まとめ 8 試験 【教科書】 系看 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進 [1] 病理学 医学書院 【参考書】 なし 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単 位（時間）	担 当 者	授業時期
微生物学	1 単位 (30 時間)	上原 良雄 (元病院臨床検査技師)	1 年後期
【学習目標】 微生物の種類とその特徴、感染症の成立および生体防御機構（免疫）を理解する 感染症の治療と感染防止の知識を学ぶ 【授業の進め方】 講義 【授業スケジュール】 1 微生物とはなにか 2 細菌、真菌、ウイルス、原虫の構造と機能 3 感染と感染症 4 感染症の診断 5 感染防御機構（自然免疫の機構、獲得免疫の機構、液性免疫と細胞免疫） 6 感染防御機構（感染症の診断と治療、獲得免疫の機構、免疫記憶とワクチン） 7 感染症における感染源と感染経路 8 感染症の診断と治療 9 感染症の現状と対策（新興感染症、耐性菌） 10 感染症の起因微生物（細菌、真菌） 11 感染症の起因微生物（ウイルス、原虫） 12 院内感染対策 13 院内感染対策 14 これまでの復習 15 試験 【教科書】 系看 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進〔4〕微生物学 医学書院 【参考書】 なし 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単 位（時間）	担 当 者	授業時期
保健医療論	1 単位 (15 時間)	竹内 敬昌（信州医療センター院長） 塚田 昌大（保健福祉事務所長）	1 年前期
【学習目標】 現代の医療・医学がどのように発展してきたかの歴史と、近年の医療を取り巻く状況を理解し、医療従事者としての姿勢を学ぶ。 【授業の進め方】 講義，グループワーク 【授業スケジュール】 1 日本の医療の特徴、衛生行政におけるトピックス 2 感染症の行政対応（結核、新型コロナウイルス感染症） 3 医療倫理、衛生行政におけるトピックス 4 医学・医療のあゆみ 5 医学・医療のあゆみ 6 健康と疾病 7 健康と疾病 8 試験 【教科書】 新体系看護学全書 別巻 現代医療論 メヂカルフレンド社 【参考書】 国民衛生の動向 厚生統計協会 【評価方法】 筆記試験			